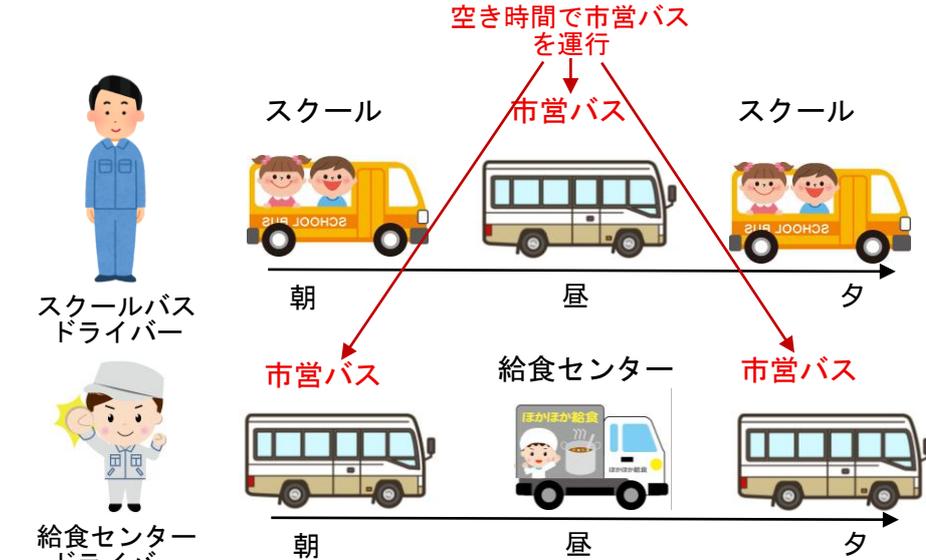


# 他の交通資源との 連携案

項目	内容
連携形態 ①	<p align="center"><b>客貨混載「トラックに旅客が混乗」</b> (連携先：宅配業者)</p>
<p>連携の イメージ</p>	<p><b>実施概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宅配事業者のトラックに旅客が混乗する「客貨混載型」の移動サービスで、「宅配の無い待機時間」や「回送時間」を活用し、効率的な旅客輸送を実現する。また、「配達時間内」に旅客輸送を組み込むことも想定される。</li> <li>○宅配業務とのスケジュール調整が必要なため、事前予約制を採用し、予約があった時間のみ運行する「オンデマンド型」が想定される。</li> <li>○先進事例では、業務の空き時間を利用して旅客輸送を実施している。予約受付は、宅配業者が行っている。</li> </ul>  <p align="center">図. 連携スキーム (ヤマトホールディングス HP)</p> <p><b>役割の分担・手間等</b></p> <p>宅配事業者：車両・ドライバー・車両の提供、予約の受付、運行スケジュールの調整</p> <p>自治体：自家用有償旅客輸送制度の登録、運行計画の策定、点呼財政支援、情報発信</p> <p>利用者の手間：電話やスマホによる予約</p>
先進事例	<p>北海道：奥尻島民で助け合い「島のりあい」実証プロジェクト (宅配事業者と連携した交通過疎地域の輸送サービス)</p>
<p>連携に向けた課題等</p>	<p><b>連携先との調整</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○貨物の繁忙期に対応が難しくなる。</li> <li>○予約システムの導入や費用面について検討する必要がある。</li> </ul> <p><b>法制度面の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交通空白地での代替手段として活用される「自家用有償旅客輸送制度」の適用対象に、宅配事業者のトラック（営業用貨物車（緑ナンバー））が含まれるか否かの確認が必要。（確認中）</li> <li>○荷物のプライバシー確保が課題となる。</li> </ul>

項目	内容
連携形態 ②	<p align="center"><b>ドライバーの提供</b></p> <p align="center">(連携先：建設業、福祉事業者、人材派遣業、貸し切りバス事業者)</p>
連携のイメージ	<p><b>実施概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大型免許保有者の多い業種と連携し、市営バスドライバーとしての人材を提供してもらう。</li> <li>○市が自家用有償旅客運送制度を活用し、各事業者から提供されるドライバーを登録・管理することで、市営バスの運行を担ってもらう。</li> <li>○人材提供のあった事業者に対しては、市から委託費用を支払うことで、事業者にとって新たな収入源となる仕組みとする。</li> <li>○連携は、各事業者の閑散期や空き時間を想定し、複数業種との連携が可能となった場合には、時間や時期を調整する。</li> </ul> <div data-bbox="534 824 1441 1086" style="text-align: center;"> <p>空き時間のみ 市営バスドライバー として提供</p> </div> <p align="center">図. 連携スキーム</p> <p><b>役割の分担・手間等</b></p> <p>連携事業者：ドライバー・車両の提供、本業とのスケジュール調整  自治体：自家用有償旅客輸送制度の登録、運行計画の策定、点呼  車両の準備、財政支援、情報発信  利用者の手間：電話やスマホによる予約</p>
先進事例	<p align="center">十日町市 建設会社によるドライバーの共有</p>
連携に向けた課題等	<p><b>連携先との調整</b></p> <p>建設業：・業務量に波があり閑散期の予測が難しい。・労務単価が高い。</p> <p>福祉事業者：・ドライバーと他の業務を兼業しているケースが多く、空き時間が無い。  ・利用者から予約があった日のみ運行であり、毎日運行しているわけではない。</p> <p><b>法制度面の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○複数事業者との連携が想定される場合には、市が自家用有償旅客運送制度を活用して各事業者のドライバーを登録・管理することの可否について、確認する必要がある。(確認中)</li> <li>○人材派遣業者から提供される人材をドライバーとして登録することは可能か確認が必要である。(確認中)</li> </ul>

項目	内容
連携形態 ③	<p style="text-align: center;"><b>市で雇用しているドライバーの共有</b> (連携先：佐渡市関係部署)</p>
<p>連携のイメージ</p>	<p><b>実施概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市で雇用しているドライバー（スクールバスや給食センター等）に、市営バスの運行を担ってもらう。</li> <li>○小中学校の登下校時間や給食配送時間以外の空き時間を活用し、市営バスの運行に従事してもらうことで、輸送資源の効率的な運用を図る。</li> </ul>  <p style="text-align: center;">図. 連携スキーム</p> <p><b>役割の分担・手間等</b></p> <p>自治体：自家用有償旅客輸送制度の登録、運行計画の策定、点呼車両の準備、ドライバー運用の調整</p> <p>利用者の手間：電話やスマホによる予約</p>
先進事例	—
<p>連携に向けた課題等</p>	<p><b>連携先との調整</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スクールバス、給食センター等の所管部署と連携し、本来業務に支障が出ないように、勤務時間帯や業務内容の調整を行う必要がある。</li> <li>○勤務時間が変更となることから、ドライバーの意向を確認する必要がある。</li> </ul> <p><b>法制度面の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市の就業規則と照らし合わせ、正規職員、会計年度任用職員など雇用形態ごとの勤務条件を整理したうえで、それぞれの基準に収まるよう調整する必要がある。</li> </ul>

項目	内容
連携形態 ④	<p align="center"><b>民間送迎サービスへの混乗</b> (連携先：自動車学校、宿泊業者等)</p>
連携のイメージ	<p><b>実施概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業者が実施している送迎サービスを、一定の条件のもとで一般開放してもらい、地域住民の混乗を可能とする。</li> <li>○協力を行う事業者に対しては、市から委託費を支払う。</li> <li>○運行ルートや時間帯、対象者などについて、本来業務に支障が生じない範囲での条件を整理する。</li> <li>○原則として、本業である送迎サービスへの混乗を想定するが、場合によっては、空き時間を活用し、住民輸送を目的としたバス運行を担ってもらう。</li> <li>○買い物・仕入れの際に混乗させてもらうケースも想定される。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="491 875 925 1220"> <p align="center">図. 連携パターン①</p> </div> <div data-bbox="957 875 1444 1220"> <p align="center">図. 連携パターン②</p> </div> </div> <p><b>役割の分担・手間等</b></p> <p>事業者：ドライバー・車両の提供、本業とのスケジュール調整  自治体：運行計画の策定、財政支援、情報発信、自家用有償旅客輸送制度の登録（有償とする場合）  利用者の手間：電話やスマホによる予約</p>
先進事例	<p align="center">千葉県我孫子：高齢者等外出応援事業 (民間送迎サービスに65歳以上の一般住民を混乗)</p>
連携に向けた課題等	<p><b>連携先との調整</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○既存の施設送迎サービスはオンデマンド型で運行しているケースが多く、運行が予約状況に左右される。</li> <li>○ドライバーと他業務を兼務している場合が多く、市営バス運行に充てられる空き時間を確保できない可能性がある。</li> <li>○ドライバーの高齢化、車両の老朽化が課題となる。</li> </ul> <p><b>法制度面の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自家用有償旅客運送制度を活用する場合、一般住民を有償、施設利用者を無料とする場合の対応（利用者カードの提示で無料とできるか）について確認が必要（確認中）</li> </ul>

項目	内容
連携形態 ⑤	<p style="text-align: center;"><b>スクールバスへの混乗</b> (連携先：佐渡市教育委員会)</p>
連携のイメージ	<p><b>実施概要</b></p> <p>○R1年4月から実施している南佐渡地区のスクールバス混乗事業について、全島への展開を想定する。</p> <p>○早朝や夕方の方の便など、スクールバスの運行と重なる時間帯については、スクールバスへの混乗を行うことで、輸送資源の効率的な運用を図る。</p> <p style="background-color: yellow;"><b>令和7年度スクールバス混乗事業を実施します</b></p> <p>小中学校のスクールバスに児童生徒以外の地域住民の方々も一緒に乗ることができる混乗制度を、南佐渡地域全域で実施します。 高校生や高齢者などが通学や通勤のため、事前に登録・予約して、スクールバスに空き席がある場合(平日の朝の便のみ)に乗車いただくことができます。</p>  <p>■運行期間 令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火) ※学校が休校の日および長期休業期間中は運行しません</p> <p>■利用料金 <b>無料</b></p> <p style="text-align: center;"><b>図. 南佐渡地区スクーバス混乗事業</b></p> <p><b>役割の分担・手間等</b></p> <p>自治体：運行計画の策定、情報発信、自家用有償旅客輸送制度の登録(有償とする場合)</p> <p>利用者の手間：電話やスマホによる予約</p>
先進事例	佐渡市南佐渡地区
連携に向けた課題等	<p><b>連携先との調整</b></p> <p>○教育委員会や学校関係者と連携し、スクール輸送を最優先とした運行条件(時間帯・定員・安全確保)を整理する必要がある。</p> <p>○一般住民が混乗することへの抵抗感が課題となっているため、座席を分けるといった配慮が求められる。</p> <p>○学校行事や休暇等による下校時間の変動、長期休業期間中の運休などにより、運行日や時間が変動することが課題である。</p> <p>○年度ごとに変動する生徒の人数に応じて、座席数を確保することが課題となる。</p> <p><b>法制度面の課題</b></p> <p>○自家用有償旅客輸送制度を活用する場合、一般住民を有償、学生を無料とする場合の対応(学生証の提示で無料とできるか)について確認が必要(確認中)</p>

